

## オレンジの皆さまへ（東北地方太平洋沖地震にあたって）

3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震は、広範囲にわたる極めて強い地震と未曾有の大津波で甚大な被害をもたらしております。多数の尊い人命が犠牲となったことに対し、早稲田大学オレンジテニスクラブ稲門会を代表して深く哀悼の意を表します。予断を許さない厳しい状況が続いていますが、ひとりでも多くの人の無事が確認されることを強く願うとともに、被災地の皆さま方に心からお見舞いを申し上げます。

毎日、毎日、信じがたいことの連続で、悲惨な被災地の状況を報道などで目にするたびに心が痛みます。私の住む静岡県でも3月15日に大きな揺れがありました。店頭から乾電池がなくなるなど、物流にも混乱が感じられます。

避難所での生活の維持・改善、被災地の復旧・復興、原子力発電所での事故、深刻な電力不足に対し、政府、関係機関はもとより、私たち日本人一人ひとりが、立ち向かわなければなりません。そして、今後も長期にわたり、この困難に立ち向かっていかななくてはなりません。私たちオレンジテニスクラブには、良き伝統のひとつとして「One for All, All for One」の精神があると思います。私たちオレンジテニスクラブの卒業生は、今こそ「One for All, All for One」の精神を発揮し、この困難に率先して立ち向かっていくべきときだと思えます。OB・OGの皆さまにおいては各界でご活躍のことと思いますが、自分にできることから、行動していきましょう。

さて、オレンジテニスクラブの卒業生は全国各地・世界各国で活躍していますが、その中には、被災地域に在住の方もおり、OB会として、役員・各代幹事の情報網を活用しながら、会員の皆さまの安否確認をしています。すでに多くの会員の無事を確認しています。しかしながら、名簿上の住所を実家などとし、実際には別の地域に住んでいる会員もいます。是非、会員同士、同期同士、連絡を取り合い、安否を確認してください。安否情報については、役員・事務局に連絡、照会していただきたいと思えます。この緊急時は同じオレンジテニスクラブで青春を過ごした仲間として700名が一致団結をし、もし困難な仲間がいれば、できる限りの支援をと考えています。まずは、正しい情報をいち早く確認することが必要です。

例年では、6月に定期総会を実施していますが、2011年度については6月の開催は困難となるでしょう。この4月1日からOB会は当面、現体制にて継続して動かさせていただきます。各代の会員の皆さま方からのご指導、ご助言、ご協力をいただきながら進めます。ここしばらくOB会は会員の安否確認と被災者への支援、情報活動に集中して参ります。

一方で、現役クラブの運営について、会報でもお知らせがありましたが、今回の震災に伴う多くの混乱のため、より大きな困難に直面することが予想されます。すでに若手を中心に各代より幅広く現役クラブへの支援をいただいております。支援を希望される方はご連絡ください。OB会でおつなぎします。

私たちの国と、私たちのオレンジテニスクラブは大変な危機に直面しています。オレンジの誇りである「One for All, All for Oneの精神」と「チャレンジャー精神」を結集して、「40年に1度」と「40年に1度」のこの大危機を全会員700名のカで乗り切りましょう。

会員・現役会員の皆さま方、ご家族の皆さま方のご無事をお祈りいたします。

平成23年3月17日

早稲田大学オレンジテニスクラブ稲門会

会長 岡本義明